

うちゅう つながる学園 学校運営協議会

—— 鵜沼中学校区 願う児童生徒の姿 ——

「自ら考え、進んで行動する子」

○主体性 ○社会性 ○自己肯定感

地域

スタイル1

地域の方による
学校教育への参加



鵜一小 SDGs地域の方の講話



八木山小オリエンテーリング



鵜沼中 高齢者宅訪問



各務小 鯉みこし

学校

スタイル3

学校間連携



学校運営協議会

家庭

スタイル2

子どもたちの
地域参画



地域ぐるみ あいさつの日(6月・11月の第1水曜日)

学校・保護者・地域住民がよさを見つけてほめ育てる鵜沼中校区

子どもたちの育ちは、連続しています。「学校」「地域住民」「保護者」が協力して「地域の子どもたち」の願う姿を考え、実践していくことが、地域の中での小中一貫教育につながります。

社会を取り巻く環境は著しく変化しており、未来を担う子どもたちが豊かに成長するためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠であり、「地域とともにある学校づくり」を目指すコミュニティ・スクールは、なくてはならない活動です。

誇り・やさしさ・活力があり、郷土を愛する児童生徒の育成を、義務教育9年間を通して地域全体で取り組むのが、各務原市が目指すコミュニティ・スクールです。

鵜沼中学校区 学校運営協議会

「うちゅう つながる学園」

「うちゅう」には、校区名ということだけでなく、「宇宙」にも聞こえ、みんなに親しみやすい、無限の夢が広がる、未来を開拓・創造する、さらに各務原市が航空宇宙産業の街であることから、郷土に誇りがもてるといった願いがこめられています。

「つながる」には、学校・保護者・地域住民などがつながり、活動をすることで、学校運営の改善や児童生徒の健全育成につなげるといった願いがこめられています。

マスコットキャラクター

「うる丸」

英語で狼は「ウルフ」

鵜沼は大昔「宇留間」→うるま
人が集まる、繋がる→輪っか→丸

ウルフ 狼：仲間と協力して生きている動物

宇 宙：うちゅう

人 参：鵜沼の名物

ミサンガ：みんな違う つながり

飛行機：航空産業

作：鵜沼中学校2年 白石芽生さん



鵜沼中学校

松が丘2丁目100

TEL.058-384-0323



鵜沼第一小学校

鵜沼西町4丁目179

TEL.058-384-0015



八木山小学校

つじが丘1丁目1

TEL.058-384-8963



各務小学校

各務おがせ町4丁目7

TEL.058-384-0124